

の 癸

日 時 牙

焚

の

焚

時

の 又 死

日 時 芽

送茶時身

の 残

時 英

の 発

時 芽

の

炎光

日時草

の 発

日 時 芽



飛の

時牙

の 癸

日 時 癸

の 必死

時 牙

の 焚 燔 燬

の 癸

時 芽

の 茶  
時 芽

の

焚

時

芽

成  
身  
の  
持  
日

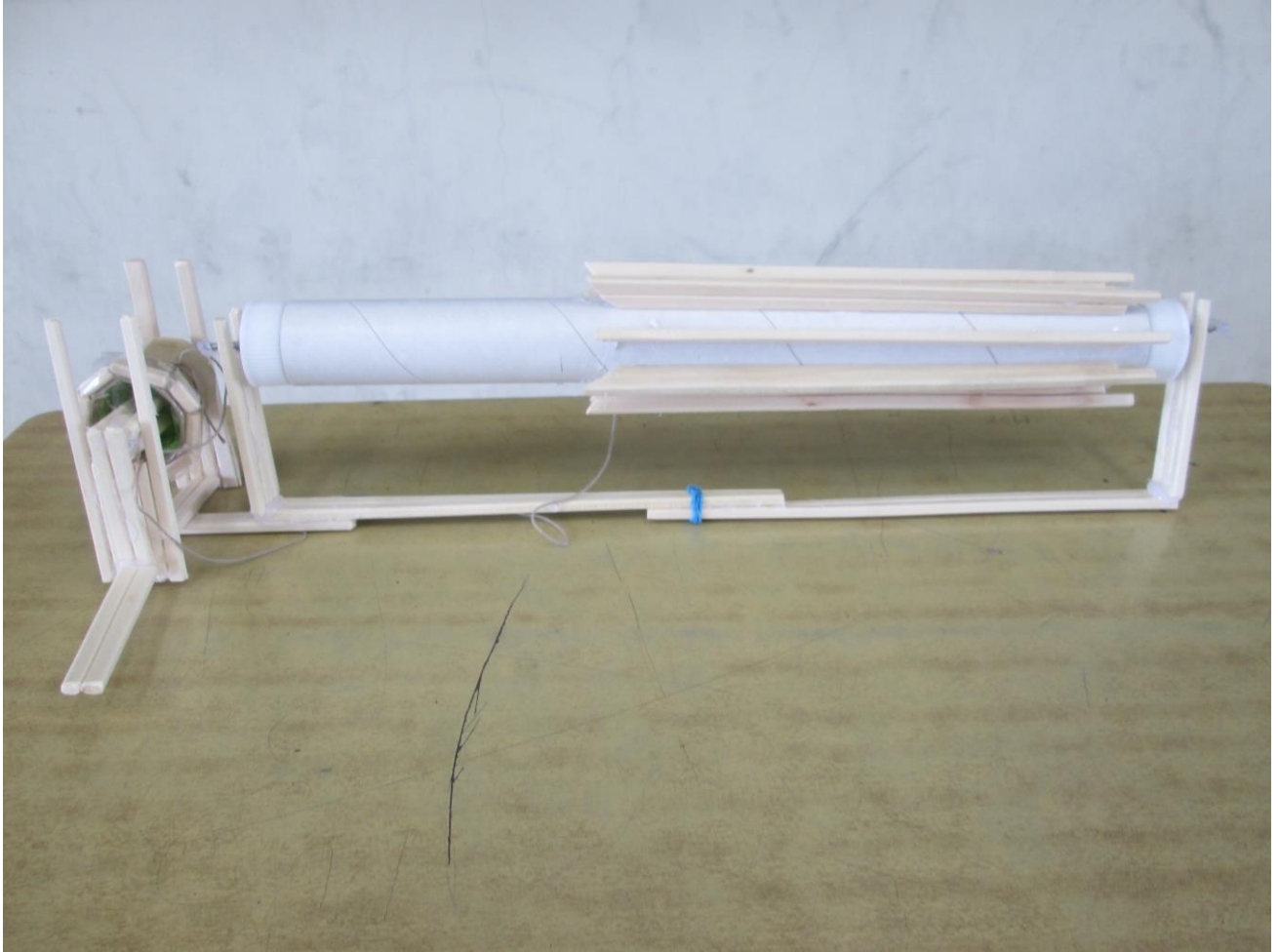


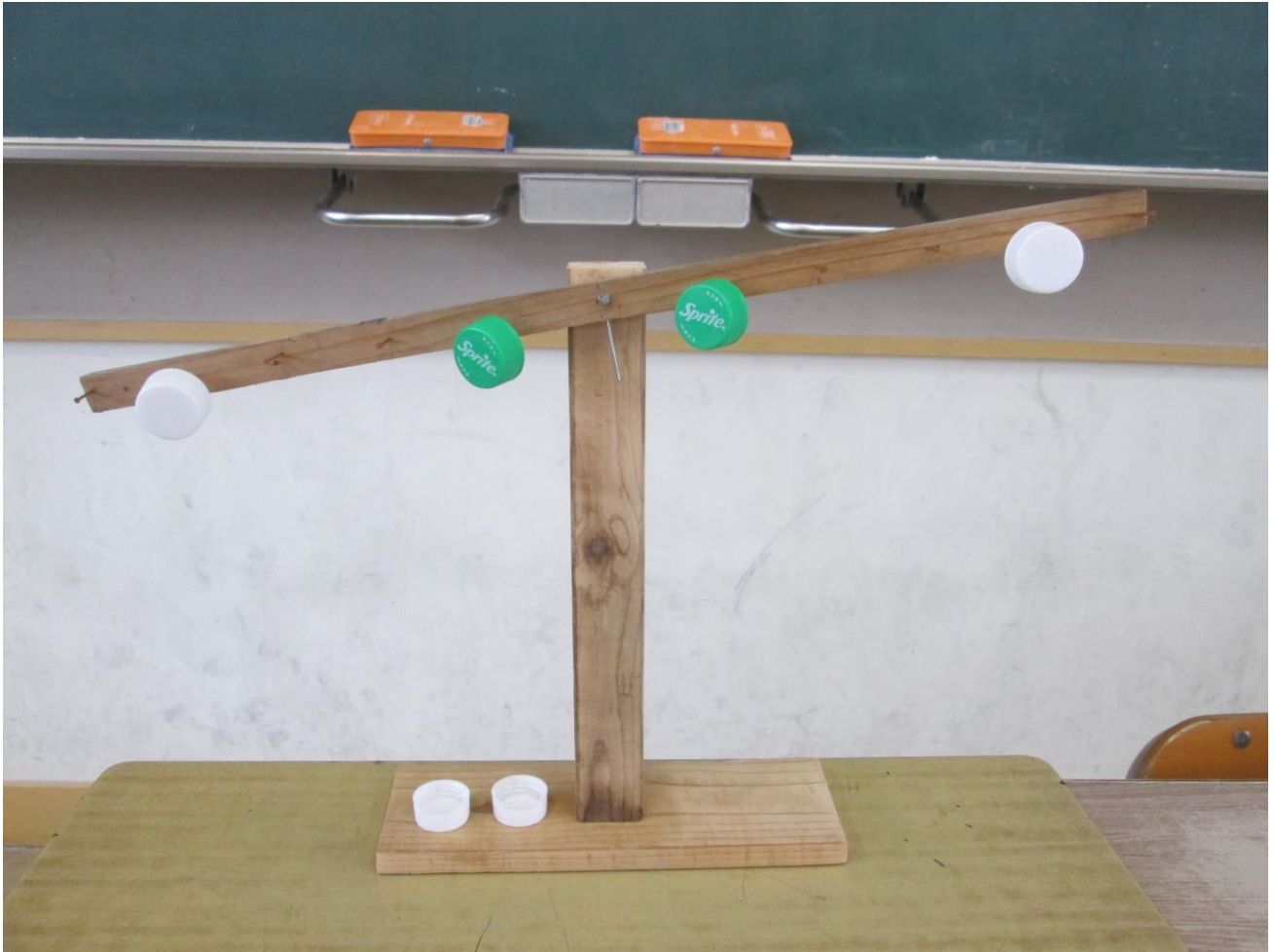
焚の

符時日

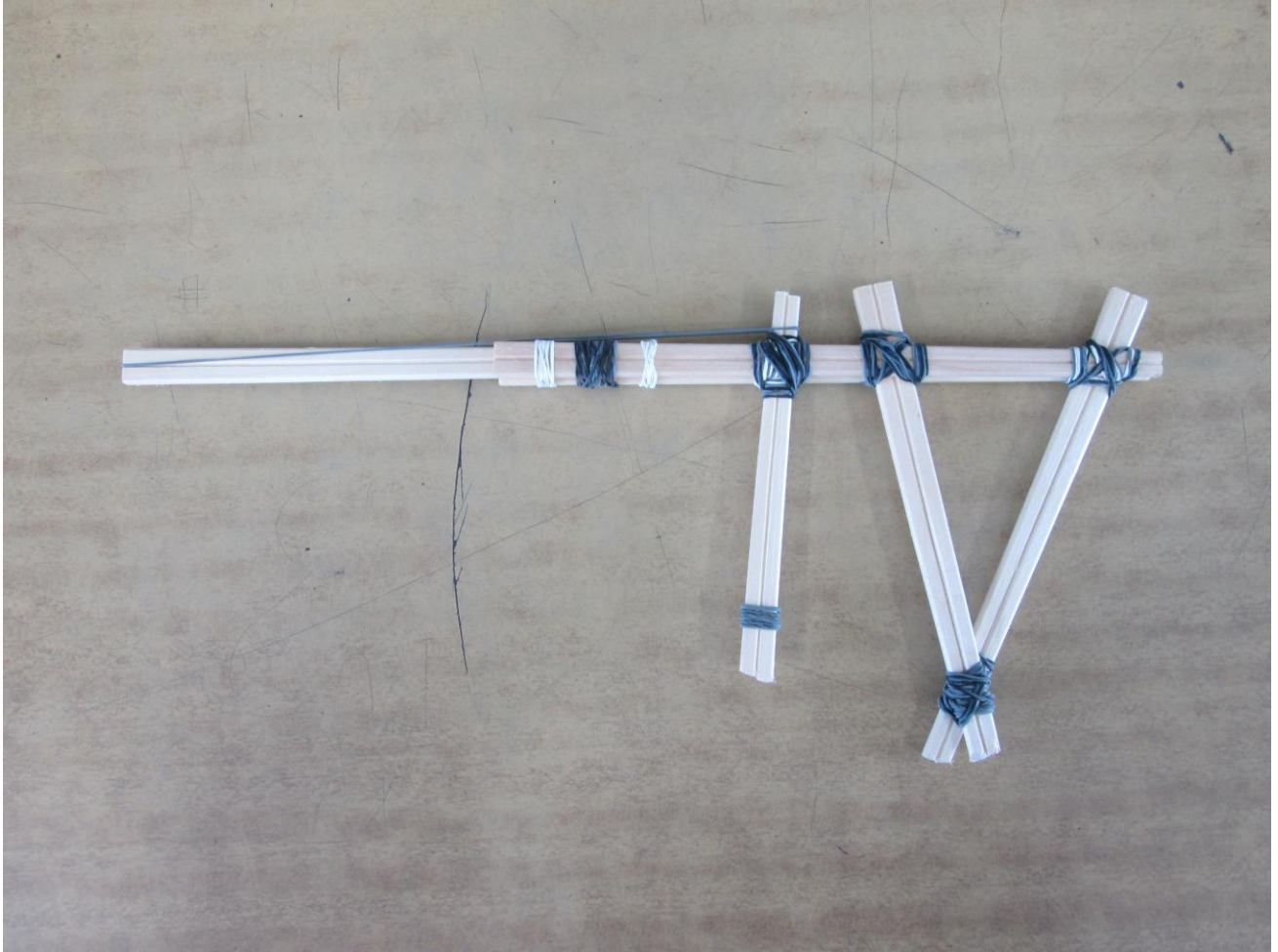
の 又 茶

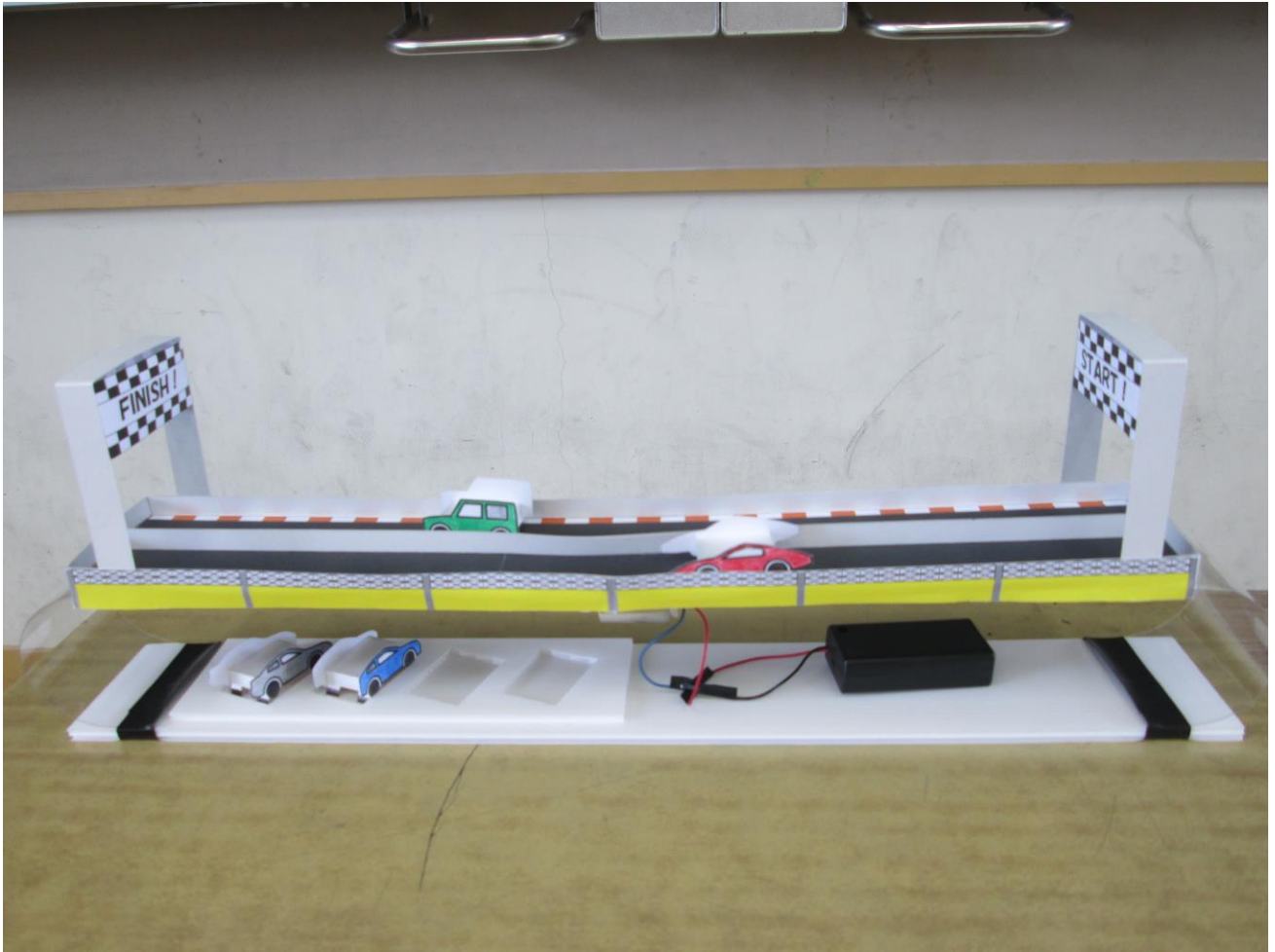
日 時 芽





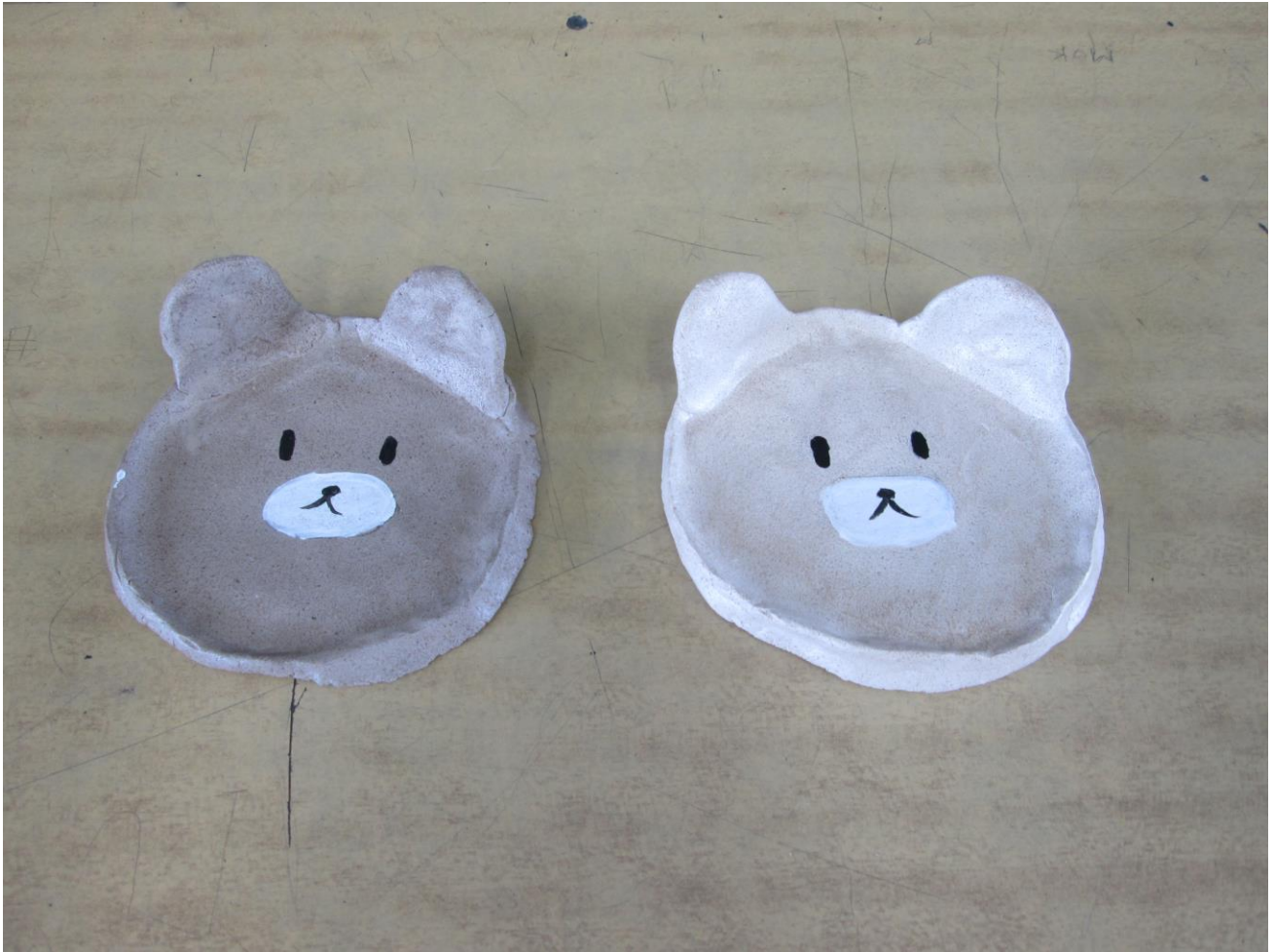


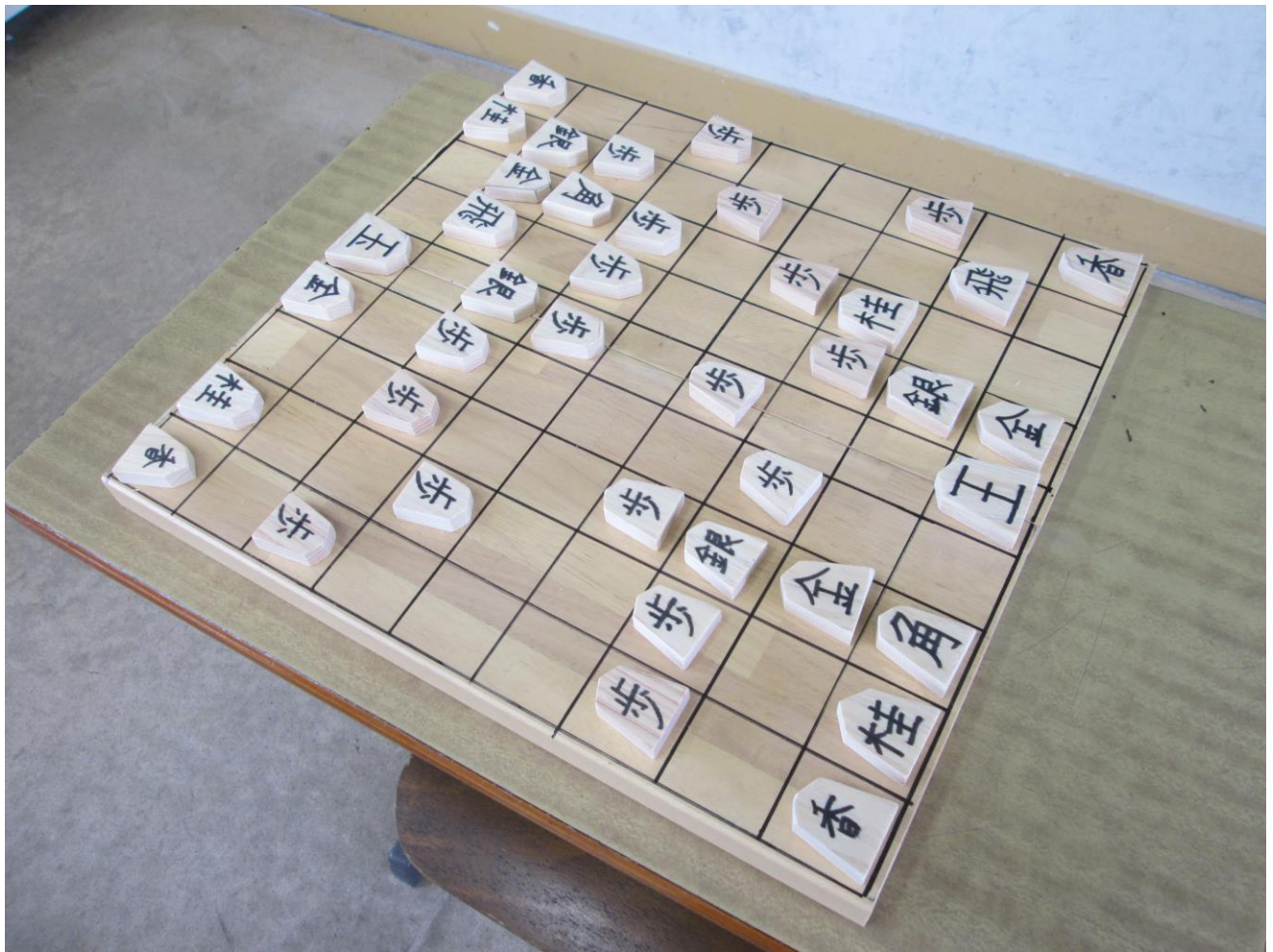


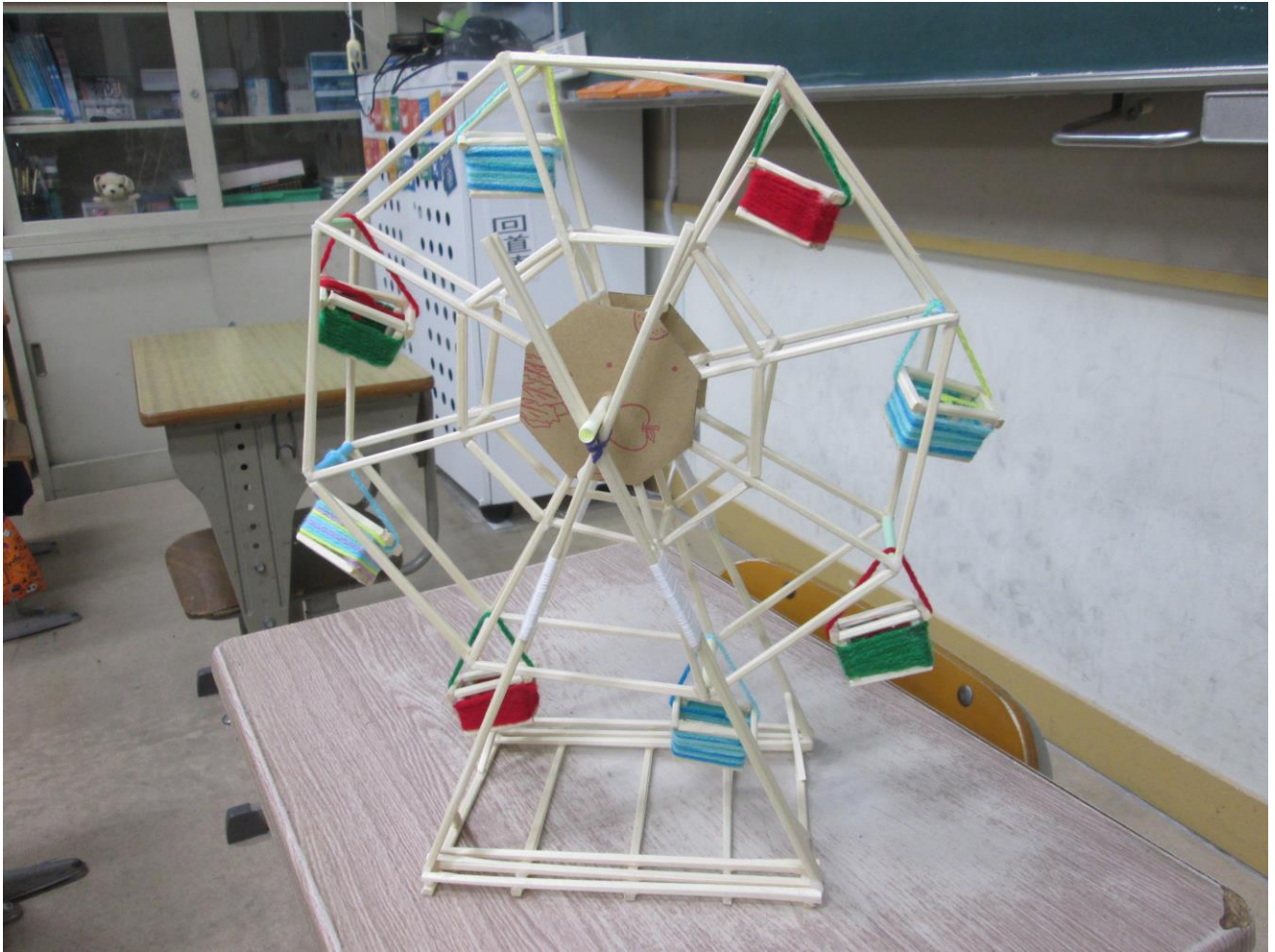










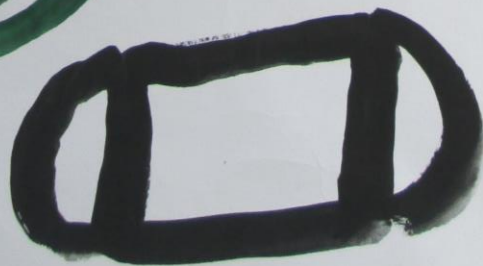




お  
で  
か  
け  
は

マ  
ス  
ク  
戸  
締  
ま  
り

火  
の  
用  
心













# サイフォンの原理

サイフォンとは隙間のない管を利用して、液体をある地点から目的地まで、途中出発地点より高い地点を通過して導く装置であり、このメカニズムをサイフォンの原理とよぶ。

どういふことかと言うと...

チューブなどを使って水を流したらふつうは上から下にしか流れないけどこの原理はスタートの地点より高い地点を通過して下に流れていくということです。

## 実際にやってみました

外にプールを出してやってみました。



チューブの中を水でいっぱいにする。そのまま水面より低い位置にもっていくと本当に水が上がってきておと水がながれつづけた。



なぜこれを調べようと思ったかというと、アニメ「Dr.STONE」で主人公の千空が洞窟の穴におちて、脱出する時にサイフォンの原理を使って脱出して、「なんでできるんや」とGoogleで調べてみたら正しいと思ったからです。このサイフォンの原理は日常でも使えると思います。例えば水そうで生き物を飼っている人は水をかえる時にサイフォンの原理を使えると思います。あとは旅行で花に水をやれない時にこのやり方をすればできるかもしれません。実際には、できるか分からないけど、使えそうな方法だなと思いました。